

第1章 倍数算 ステップ2

Q1

母の年齢は子どもの年齢の5倍です。
年齢の合計は45歳です。
母と子のそれぞれの年齢はいくつですか。

Q2

今、父は38歳です。子どもは10歳です。
何年後に、父の年齢は
子どもの年齢の3倍になりますか。

Q3

今、父は39歳です。子どもは9歳です。
父が子どもの年齢の6倍であったのは
何年前ですか。

Q4

2400円をA、B、Cの3人に分けるのに
BにはAの2倍
CにはAの3倍になるように分けました。
Aは何円になりますか。

Q5

3600円をA、B、Cの3人に分けるのに
BにはAの2倍
CにはBの3倍になるように分けました。
Cは何円になりますか。

Q6

AとBとは同じ金額を持っていましたが
Aが40円を使い
Bが200円を得たので
Bの所持金はAの4倍になりました。
それぞれの金額は何円になりましたか。

Q7

Aの所持金はBの4倍であったが
A、Bともに、300円ずつ増えたので
Aの所持金がBの3倍になった。
初め、
A、Bはそれぞれ何円持っていたか。

Q8

Aの所持金はBの5倍であったが
A・Bともに2000円ずつ増えたので
AはBの4倍になった。
初め A、Bは何円持っていたか。

Q9

Aの所持金はBの6倍であったが
A、Bともに、3000円ずつ増えたので
AがBの4倍になった。
初め A、Bは何円持っていたか。

Q10

Aの所持金はBの7倍であったが
A、Bともに、6000円ずつ増えたので
AはBの3倍になった。
初め A、Bは何円持っていたか。

第2章 単位と総量 ステップ2

Q1

クラスの生徒のうち
Aグループ20人の平均は80点で
Bグループ5人の平均点が50点である。
クラス全員の平均点は何点ですか。

Q2

Aグループ8人の平均身長が150 cm
Bグループ10人の平均身長が141 cm。
2つのグループの平均身長は何cmですか。

Q3

クラス25人の平均点が80点です。
クラスのうち
Aグループ8人の平均点が80点
Bグループ10人の平均点が73点です。
Cグループの平均点は何点ですか。

Q4

男子18人、女子24人のクラスで
国語のテストをしたところ
男子の平均点が56点
クラスの平均点が64点でした。
女子の平均点を求めなさい。

Q5

A、B、C、D、E平均点が77点で
A、B、Cの3人の平均点が72点です。
DはEより3点高い。
Dは何点か。

Q6

A、B、Cの平均点が78点
C、D、Eの3人の平均点が81点
5人の平均点が79点だそうです。
Cの得点は何点か。

Q7

A、B、Cの3つの数があります。
AとBの平均は12
BとCの平均は16
CとAの平均は14です。
A、B、Cそれぞれの数を求めなさい。

Q8

A、B、C、Dの4つの数があります。
AとBの平均は33
BとCの平均は28
CとDの平均は33
DとAの平均は38
AとCの平均は25です。
A、B、C、D3それぞれの数を求めなさい。

第3章 ニュートン算 ステップ2

Q1

地下水がたまっています。
ここへ
一定の速さで地下水が湧き出てきます。
この地下水を
ポンプで汲みつくしたいと思います。
10台のポンプでは12時間かかり
15台のポンプでは
7時間かかることが判っています。
ポンプ7台で汲みつくしたい。
次の①～⑥の順序で考えなさい。

- ① 1台のポンプが1時間に汲み出す量を1とすると
10台のポンプが
12時間で汲み出す量はどれだけか。
- ② 15台のポンプが
7時間で汲み出す量はどれだけか。
- ③ 10台のポンプで汲み出すときと
15台のポンプで汲み出す時とでは
いくら違いますか。
- ④ 1時間に湧き出る水の量は
いくらですか。
- ⑤ 最初にあった水の量はどれだけか。
- ⑥ 7台のポンプで汲み出すと
何時間かかりますか。

Q2

地下水がたまっています。ここへ
一定の速さで地下水が湧き出てきます。
この地下水を
ポンプで汲みつくしたいと思います。
12台のポンプでは6時間かかり
10台のポンプでは8時間かかることが
判っています。
ポンプ16台で汲みつくしたい。
何時間かかりますか。

Q3

いつも一定の速さで
草の生えてくる牧場があります。
牛11頭では10日で食べつくし
牛10頭では12日で食べつくします
牛7頭では何日で食べつくしますか。
次の①～⑥の順序で考えなさい。

- ① 1頭の牛が
1日に食べる量を1とすると
11頭の牛が10日で食べる量は
どれだけか。
- ② 10頭の牛が
12日で食べる量はどれだけか。
- ③ 11頭の牛が10日で食べる量と
10頭の牛が12日で食べる量とでは
どれだけ違いますか。
- ④ 1日に生えてくる草の量は
どれだけですか。
- ⑤ 最初にあった草の量はどれだけか。
- ⑥ 7頭の牛では何日で食べつくしますか。

Q4

いつも一定の速さで
草の生えてくる牧場があります。
牛12頭では6日で食べつくし
牛10頭では8日で食べつくします
牛16頭では何日で食べつくしますか。

第3章 相当算 ステップ2

Q1

A君が持っているお金の40%を使ったら
残りは3000円になった。
初め持っていたお金は何円ですか。

Q2

ある本の7分の3を読んだところ
残りは120ページでした。
この本は全部で何ページありますか。

Q3

B君のお金の30%をつかったら
残りは3500円になった。
使ったお金は何円ですか。

Q4

Cさんの持っているお金は3000円で
これは、Dさんの持っているお金の
3分の2よりも600円多い額です。
Dさんの持っているお金は何円ですか。

Q5

Eさんが目的地までの道のりの
5分の3より700m多く進みましたが
まだ300m残っているそうです。
目的地までの道のりは何mですか。

Q6

ある品物の値段が
4割値上がりして5600円になった。
初めの値段は何円ですか。

Q7

A村の予算の6割と4割との差は
3億円です。
A村の予算は何円ですか。

Q8

持っているお金の40%を使い
次に、残りの20%を使ったら
4800円になった。
持っていたお金は何円ですか。

Q9

ある数からその数の5分の1を引き
次に、残りの数から10分の3を引き
さらに、残りの2分の1を引いたら
56になった。
ある数はいくらか。

Q10

ある数からその数の20%を引き
次に、残りの数から30%を引き
さらに、残りの50%を引いたら
56になった。
ある数はいくらか。

第4章 売買算 ステップ2

Q1

2000円で仕入れた品物を
原価の5割の利益を見込んで
定価をつけましたが
定価の3割引きで売ることになりました。
① 定価・売価・実際の利益は何円ですか。
② 利益は、原価に対してどんな割合か。

Q2

600円で仕入れた品物を
5割の利益を見込んで定価をつけました。
が、売れないので、
2割引きで売りました。
① 実際の利益は何円ですか。
② 利益の割合はいくらですか。

Q3

5000円で仕入れた品物を
2割の利益を見込んで定価をつけましたが
売れないので1割引きで売りました。
① 実際の利益は何円ですか。
② 利益の割合はいくらですか。

Q4

仕入れた品物を、20%の利益を見込んで
定価をつけました。
大売出しで10%引きで売りました。
利益は80円でした。
原価は何円だったでしょうか。

Q5

1000円で仕入れた品物を
原価の50%の利益を見込んで
定価をつけましたが
定価の20%引きで売ることになりました。
① 利益は何円ですか。
② 利益は、
原価に対してどんな割合ですか。

Q6

1000円で仕入れた品物を
原価の50%の利益を見込んで
定価をつけましたが
定価の20%引きで売ることになりました。
利益は4000円の予定です。
① 原価は何円ですか。
② 売価は何円ですか。

Q7

仕入れた品物を
20%の利益を見込んで
定価をつけましたが
20%引きで売ることになりました。
利益または損失の割合を求めなさい。

Q8

仕入れた品物を20%の利益を見込んで
定価をつけましたが、
10%引きで売りました。
利益は1600円です。
売価は何円でしたか。

第5章 仕事算 ステップ2

Q1

ある仕事を仕上げるのに
Aならば20日、Bならば30日かかる。
AとBと一緒に仕事を始めましたが
途中からAが休んだので
残りはBが1人でしました。
その結果、18日で仕上がりました。
Bが1人で仕事をしたのは何日間ですか。

Q2

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日で仕上げます。
AとBが共同して4日仕事をした後
残った仕事をBが1人で仕上げると
あと何日かかりますか。

Q3

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日で仕上げます。
Aが全体の5分の2をしたあと
残りをBが仕上げました。
全部で何日かかりますか。

Q4

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日かかります。
AとBが共同して4日仕事をした後
残った仕事をBが仕上げました。
Bは全部で何日仕事をしましたか。

Q5

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日で仕上げます。
AとBがいっしょに何日か仕事をした後
残りをBが5日で仕上げました。
2人で働いたのは何日ですか。

Q6

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日で仕上げます。
AとBと一緒に仕事を始めましたが
途中からAが休んだので
残りはBが1人でしました。
その結果、仕事は9日で仕上がりました。
Aは何日仕事をしましたか。

Q7

ある仕事を、Aならば10日、
Bならば15日で仕上げます。
AとBと一緒に仕事を始めましたが
途中からAが休んだので
残りはBが1人でしました。
その結果、仕事は9日で仕上がりました。
Bが1人で仕事をしたのは何日間ですか。

Q8

ある仕事を、Aならば20日、
Bならば30日で仕上げます。
AとBが共同して8日働いたあと
残りはBがしました。
Bは全部で何日仕事をしましたか。

第6章 食塩水の濃さ ステップ2

Q1

濃さ 10%の食塩水 200 g に
X g の食塩を加えたら
濃さは 25%になりました。
何 g の食塩水になったのでしょうか。

Q2

濃さ 6%の食塩水 600 g に
X g の食塩を加えたら
濃さは 20%になりました。
何 g の食塩を加えたのでしょうか。

Q3

濃さ 8%の食塩水 200 g に
X g の食塩を加えたら
濃さは 20%になりました。
何 g の食塩を加えたのでしょうか。

Q4

食塩水 A は、濃さ 10%、重さ X g
食塩水 B は、濃さ 5%、重さ Y g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ 7%で、重さが 1000 g の
食塩水 C ができる。
食塩水 A と B の重さを求めなさい。

Q5

食塩水 A は、濃さ 8%、重さ X g
食塩水 B は、濃さ 5%、重さ Y g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ 7%で、重さが 600 g の
食塩水 C ができる。
食塩水 A と B の重さを求めなさい。

Q6

食塩水 A は、濃さ 9%、重さ X g
食塩水 B は、濃さ 4%、重さ Y g です。
A と B を混ぜ合わせると
濃さ 7%で、重さが 500 g の
食塩水 C ができる。
食塩水 A と B の重さを求めなさい。

Q7

濃さ 10%の食塩水 X g に
40 g の食塩を加えたら
濃さが 25%になりました。
X の値を求めなさい。

Q8

濃さ 10%の食塩水 X g に
80 g の食塩を加えたら
濃さが 25%になりました。
X の値を求めなさい。